

今月の憂いコト

第2次安倍改造内閣から、  
従軍慰安婦記事の誤報、  
土砂災害の防止対策、  
札幌芸術祭2014まで！

東京・新丸の内ビルの7階にある、

日本の地方のこだわった食材を使う

蒸し料理レストラン「musmus(ムスムス)」で、

お茶を飲みながら語り合った田中・浅田両氏。

内閣改造後の日本がこだわるべきは何？

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui



田中康夫

浅田彰

# 憂国呆談

season 2 VOLUME 52

## 改造後の内閣がスタート。 経済再生と地方創生は？

浅田 第2次安倍内閣が改造され、自民党の役員も入れ替えられたけど、蓋を開けてみたら内閣の中核部分はそのままで、何のために改造したのかよくわからない。

田中 元朝日新聞記者の松島みどりを法務大臣に据えて特定秘密保護法の国会答弁を担当させたり、総務会長となった二階敏博や幹事長の谷垣禎一に中国との関係改善を期待したり、護憲で軽装備の防衛を掲げていた宏池会系の谷垣や岸田文雄外務大臣をあえて重用して矢面に立たせる人選はなかなか深いとも言える。

女性閣僚を登用するのは当然にしても、2020年までの6年間で30%に引き上げるのは無謀な話だ。積極的に女性を登用してきたカルロス・ゴーン率いる日産自動車でも女性管理職の割合は7~8%。やっぱり女性管理職なんてとリバウンドが起きるのを防ぐ意味でも毎年数パーセントずつ着実に増やすほうが、当の女性にとっても望ましいよ。

浅田 強引に男女平等を目指すことで現実がついてくるって面もあるけどね。それより問題なのは、女性っていつも安倍好みの右翼が多いこと。高市早苗総務相や稲田朋美政調会長がネオナチ（国家社会主義日本労働者党）の代表と写ってる写真が、さつそく海外のメディアで問題視されるありさま。改造内閣に距離を取ったのは野田聖子ぐらいか。

田中 距離を取らされたことかな。それよりも何よりも、経済は深刻な状況だ。株価こそ経済の豊かさ指数だと巧言する向きもいるけど、実体経済の悲惨な数値が

次々と明らかになってきた。経済成長率（実質国内総生産GDP）の4~6月期は前期比マイナス1.8%。年率換算でマイナス7.1%。アメリカは前期比プラス4.2%だから、雲泥の差。東日本大震災時を超える減少率。家計最終消費比率に至っては年率換算でマイナス23.1%だ。

実質賃金指数も、野田佳彦民主党の自爆政権交代があった2012年12月と、1年半後の今年6月を比較するとマイナス2.4%。7月の給与所得者世帯の実収入もマイナス6.2%と10か月連続で減少。他方、7月の消費者物価指数は前年同月比プラス3.3%。しかも円安の影響で貿易収支は毎月9000億円台の赤字。

浅田 奇しくも野口悠紀雄と意見が一致しちゃうけど（苦笑）、円安で昔のような輸出国を目指しても無理なんで、今の日本は石油やガスをはじめとする資源輸入国なんだから、円安にしたら損するだけ。

田中 政権交代時に84円台だったのが今や109円台。景気のいい国の通貨が強くなることは自然と黒田東彦日銀総裁は相変わらずな発言を続けているけど、賃金上昇率よりも物価上昇率のほうが大きいことから、黒田インフレーションは「幻想」となってきた。アメリカのウォール・ストリート・ジャーナルも「円安は日本のカンフル剤にならず」と報じ、イギリスのフィナンシャルタイムズに至っては「3本の矢、いまだ的中せず。どうか4番目の矢として軍国主義が復活しないように願いたい」とまで記している。

実際問題、GDPにおける外需の寄与度はプラス1.1%だけど、内需の寄与度はマイナス2.8%。差し引きマイナス1.7%。これぞ産業空洞化の証しだ。今こそ政治がグリップを利かせて、抜本的に認識を改め、選択を変え、仕組みを直すべきなのに、各省庁の次年度概算要求は過去最高の101.7兆円。復興予算の使い残しが3割に達して問題視された復興庁も15%増の概算要求。官僚のやりたい放題。

浅田 ここで消費税が10%にアップしたら、経済はますます失速するだろうね。今頃になって消費税の2%アップは止めたほうがいいって浜田宏一内閣官房参与あたりが言ってるようだけど、一度決めたことで国際公約にもなってるから、いままらやめると日本の財政再建に疑問符がつかない。にっちもさっちもない状況だね。

田中 集団的自衛権が国際公約だと言うなら、「財政再建」のための消費税はさらに国際公約なわけだからね。景気の失速に直面して財務省は増税2%を1年延期する秘策を検討し始めたみたいだけど、その場合は増税しないための膨大な数の法律を年明けの通常国会で審議しないといけない。国際的にも財政規律ができない国として株価や国債価格は下落必至で悩ましい。

浅田 経済に暗雲が立ち込める一方、外交も先が見えない。北朝鮮の拉致問題に関する調査報告も残念ながら期待できないしね。それやこれやで、安倍政権の今後は波乱含みでしょう。

その意味では、自民党幹事長をはずされた石破茂は、改造内閣と距離をとったほうがよかつたかも。地方創生担当大臣になったものの、自前の役所も予算もなしに何ができるのか。

田中 「出生率を上げることがいけばんに取り組むべきこと」と発言してたけど、昨年1.43だった合計特殊出生率が、現在の人口を維持する前提数値の2.07まで回復するはずもない。事実婚PACSを認め、子育て支援を充実させて欧州随一の出生率となったフランスですら2.01だもの。本気で地方創生を唱えるなら、フランスやイタリアと同規模の人口6000万人台へ半減しても持続可能な日本を、農業生産も含めていかに分散的なたちでデザインするかを考えることが大事だよ。

浅田 そう、大平正芳元首相の田園都市国家構想のようなヴィジョンを提示できればいいんだけど。

田中 それでこそ富国裕民。ところが旧建設官僚、元岩手県知事の増田寛也が座長の日本創生会議は「極点社会」の到来で523もの市町村が消滅すると「脅し」をかけ、コンパクトシティなる地域拠点都市を設ける「平成の列島改造」を主張しているけど、一過性のハコモノ公共事業でさらに全国が疲弊する愚策となりかねない。平成の大合併で日本の市町村は2000年当時の3229から1719へとほぼ半減した。一方、人口が約6500万人のフランスには自治体「コミューン」が3万6500あまりもある。パリに次ぐ街はマルセイユだけだ。世田谷区と同規模の83万人。チーズで知られるカマンベール村の人口は200人。なのに、持続可能なのはなぜかを探るべきだよ。日本だって以前からゴミ処理や消防は近隣市町村が一部事務組合



と呼ばれる行政組織で対応している。合併や集落再編が答えじゃないんだよ。知事時代から言ってるんだけどね。

### 従軍慰安婦の記事で誤報。朝日新聞の対応は？

浅田 しかし、右翼的な方向に猛進して国民にそっぽを向かれ退陣した安倍が、こうして復活してまた右翼的な方向に猛進して、それは民主党政権があまりにひどかったからで、民主党の責任は大きい。しかも、そこでリベラルな論陣を張るべき朝日新聞が「自爆テロ」を連発する始末（苦笑）。

田中 慰安婦に関する「吉田清司証言」は明らかに誤報。だけど、慰安婦はいなかったという居丈高な主張は国際的に通らないんだよ。国際軍事裁判で日本軍人・軍属に有罪が宣告され、日本政府に謝罪と補償を求める決議をオランダの下院が7年前にも改めて採択した「白馬事件」。元々はオランダの植民地だったインドネシアを占領した日本軍の将校が数十人のオランダ人女性を慰安所に強制連行し、軟禁状態で強姦した史実は消し去れない。

河野談話を官房副長官として担当した旧自治省出身の石原信雄は先日にもインタビューで、慰安所の設置や運営に当時の軍が関わったのは明らかで、実際に各省の倉庫で資料を集めたら、慰安所の運営、衛生管理、治安の維持を頼むという趣旨の文書が出てきたと述べている。『終りなき海軍』という1978年の本で中曾根康弘元首相も、『いま明かす戦後秘史』という1983年の対談本で鹿内信隆元フジサンケイグループ会議議長も、同様の言及をしていたことが今回、あらためて報じられている。つまり、女性たちが意に反して集められ、それに軍

が関与していた。その史実と朝日の誤報は冷静に分けて日本は対応しないと、国際社会ですべ返しを食らっちゃうのにな。

浅田 そう、前に言ったように、慰安所はすべて民間の業者がやってたんで日本軍には責任はないなんて、そんな議論が通るはずもない。

それにしても、朝日新聞は喧嘩が下手すぎるよ。誤報を認めたのなら謝罪する必要はあるし、それを求める池上彰のコラムも掲載すべきだった。木村伊量社長と取り巻きの責任を洗ったがために、結局は罵々たる非難の嵐の中で謝罪と事実上の辞任表明に追い込まれたわけだ。

田中 だけど、その後も部下を処分するばかり。いつまで社長の座に居座るんだ、と自ら炎上を拡大させ続ける最悪の危機管理対応になってる（涙）。

浅田 福島第一原発の「吉田調書」も朝日のスクープがきっかけで公表に至ったわけだけど、確かに報道の仕方が偏ってた。吉田所長自身は、考えてみれば第二原発へ逃げるのも悪い選択じゃなかったって言って



### 田中康夫

たなか・やすお ●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。11月に『33年後のなんとなく、クリスタル』を出版予定。

るのに、そこはカットし、多くの社員が命令に違反して逃げたかのように書きちゃったわけだから。

吉田所長と部下たちが、絶望的な状況のなか生命の危機を顧みず事故の收拾に努力したことは、評価しなきゃいけない。でも、結局、3つの原子炉で水素爆発が起こっちゃった。所長個人ではないにせよ、東京電力にその責任があるのは明らかだよ。ところが、無闇に介入しようとした菅直人首相（当時）が悪い、東電社員の名誉を汚した朝日新聞が悪いという方向に、話がそれちゃってる。

田中 誤報一覧に、亀ちゃんこと亀井静香と新党結成に関して長野県内で会談との報道は捏造だったと記されているね。その記事の翌日に僕が知事会見で、県内でなんて会ってないよ、と述べたら朝日が、過剰反応「した真相を話しておくよ」。

亀ちゃんにも僕にも取材がなかったのは事実。でも、当時の長野支局の記者は懲戒解雇されたのに、記事を出稿した政治部の亀ちゃん番はお咎めなし。しかも、県内で

会談したらしいので田中に当たれと政治部が「行政連絡」を下した。朝日では本社から支局に取材依頼するのを「行政連絡」と呼ぶんだ。官僚組織でしょ（苦笑）。で、支局の記者は僕に確かめようと塩尻市での車座集会に来たんだけど、議論好きの県民と話し好きの僕でなかなか終わらない。その間に彼は支局に戻って来いと上司から命ぜられ、恐らく二人は会ったと思うと「行政報告」したら、なんと亀ちゃん番は亀ちゃんに裏取りもせずに記事化した。僕の会見後に再取材をしたら、都内の間違いでしたとしゃべって訂正記事を出せば何の問題もなかったのに、その段階でも僕にも亀ちゃんにも当たってこなかった。

しかもね、1か月後に「朝日新聞は生まれ変わります」と検証記事を見開きで掲載するんだけど、その時も二人に取材がなかったんだよ。つまり、事故の当事者への裏付け捜査もいまま、調査書を書いてしまっただと。優秀な書き手は社内にも多いのに、どうして「行政能力」はダメなのかな。

浅田 1999年に朝日新聞創刊120周年を記念して坂本龍一が「LIFE」っていうオペラを作曲したことがあって、僕もアドヴァイザーだったんだけど、著名人にインタビューするセクシオンがあつて、『悪魔の詩』を書いたためイسلام原理主義者から生命を狙われてたサルマン・ラシュディも入れたわけ。U2もコンサートでラシュディをステージに出したくらいで、新聞にとつてはおいしい素材だと思っただけだよ。その途端に朝日の広告部門の幹部がニューヨークの坂本のところに飛んで行って、ラシュディだけはやめてくれ、と。会社のおめでたい行事に不吉な影を落とすたくない（苦笑）ってことなんだろうね。それで

自治体を糾弾する前に、土砂災害の可能性が高い場所を国が一刀両断に指定しないと悲劇は繰り返す。（田中）



も新聞かっていう官僚的な事なかれ主義。坂本は憤然として最初はこの企画から降りるって言ったんだけど、結局、むしろラッシュディの書いてくれた短篇をずたずたに断片化して出すって形に落ち着いた。創刊120年を祝いつつ、実は朝日新聞による検閲の痕跡を提示したわけね。

## 広島で発生した土砂災害。国としてやるべきことは？

田中 広島市安佐南区八木地区で土砂災害が発生し、70人以上も亡くなった。八木蛇落(やまへびおち)地悪谷(ぢあくや)という地名を先人が付けて警告していた場所が大規模宅地造成された末の悲劇。なのに砂防ダムさえあれば防げたかのように論ずるお花畑な「専門家」がいるのが痛い。じゃあ、砂防ダムが3基も存在しても長野県・南木曾町で土石流を食い止められなかったのはなぜなんだと。実は国土交通省の水管理・国土保全局は、いずれも土砂等で満杯だったので、土石流は砂防ダムを乗り越えて沢を下ったと文書で認めている。ある程度の土砂がたまったら砂防ダムも浚渫(しゅんせつ)を行う必要があるということ。ところが、土砂の浚渫・除去を実施した事例が日本では存在しない。放置しつづけて土砂で満杯になると上下流に新たな砂防ダムを建設するのが砂防工学の流儀だから。治水ダムも同様で、北海道日高地方を流れる沙流川(さながわ)に建設された二風谷ダム(ふかたに)は、想像を絶する堆砂に直面している。沙流はアイヌ語で、流砂で河口部がふさがりやすい葦原を意味するんだけど、なんと想定250年分の土砂がたった10年間でたまってしまいい、あと10年でダム湖は満杯になる。なのに、まもなく堆砂も減少するだろうからと浚渫を行う予算を計上しないんだよ。

温暖化が  
続くとなると、  
観光のみならず  
農業の面でも  
北海道の  
未来は実は  
明るいんじゃないかな。(浅田)

浅田 維持・修繕っていう地道な公共事業が地元で持続的な雇用を生むのにね。

田中 驚くなかれ、以前の都市計画法は災害危険区域、地滑り防止区域、急傾斜地崩壊区域での医療施設や社会福祉施設等の開発行為を認めていた。だから、山裾や崖下に老人ホームや病院がある。15年前に同じ広島で発生した土砂災害で多数の犠牲者が出たのを受けて土砂災害防止法ができた。でも、警戒区域に指定するのは地元の自治体の首長。山裾や崖下の遊休地を所有している建設会社や農業団体は皮肉にも彼らの支持母体。住宅地においても区域指定は住民合意が必要。しがらみが多すぎる。道路建設では強制収容も辞さないのに本末転倒でしょ。避難勧告が遅かったと自治体を糾弾する前に、土砂災害の可能性が高い場所を国が一刀両断に指定しないと悲劇は繰り返す。

浅田 警戒区域に指定されたら地価はガクンと下がるから、当然、住民は嫌がる。それはわかっているんだから、住民の合意を待たず、当局が客観的に指定していくほかな



い。もちろん、警戒区域の家が移転する補助や補償も必要だけどね。

田中 そのとおり。ところが警戒区域指定されてないから開発許可や建築許可は別の部署が出してしまう。ダムが必要だと叫ぶ一方で、台風で決壊した堤防の真下の家を建て直す建築許可がまだに出してしまう奇っ怪ニッポン。縦割り行政の悲劇だ。

浅田 広島だけの問題じゃない。この夏は多くの住む京都も含め全国各地で記録的な豪雨や土砂災害が相次いだ。明らかに地球温暖化の影響だね。東京の代々木公園から始まったデング熱騒ぎも、実はすでに各地に広がっている可能性がある。日本が亜熱帯化していると思ったほうがいいのかも。

夏には各地でスポーツ・イベントや芸術祭が開催されるけど、こうなると考え直したほうがいいね。その点、坂本龍一がゲスト・ディレクターを務めた「札幌国際芸術祭2014」は、何といっても涼しくよかったし、テーマをエコロジーに絞ったんで、一見地味だけれど、アート界のトレンドの後追いみたいな普通の芸術祭よりは

意味のあるものになったと思う。イサム・ノグチの遺作となったモエレ沼公園も、再訪してみると、やはり素晴らしい。

田中 以前はゴミ捨て場だったよね。

浅田 沼をゴミで埋め立てて公園にした。マケットができた段階でノグチは亡くなったけれど、だいたい彼の構想どおりにできてる。あと、札幌の大通公園にはブラック・スライド・マントラっていう石の滑り台がある。滑り降りる子どものお尻で磨かれて完成するっていう素晴らしい遊具。彫刻。いずれにせよノグチの作品の舞台として札幌はマッチしてると思うよ。そうそう、ノグチと結婚してたことのある山口淑子(李香蘭)が亡くなったね。

田中 「アイヌ民族はもういない」発言で大批判されている金子快之札幌市議が意外にもブログで札幌芸術祭を絶賛していた。来場者は少ないけど、坂本のセンスとネットワークには脱帽すると。ただ、現市長が開催したのは不愉快だったさ(苦笑)。

浅田 上田文雄市長は民主党系だけれど、アートについても自分の言葉で語れる人物だよ。ともかく、温暖化が続くとすると、観光のみならず農業の面でも北海道の未来は実は明るいんじゃないかな。

近頃は芸術祭が流行で、東アジアでも各地でやってる。ただ、海外からディレクターを呼んでくる例も多いなか、日本では日本人のキュレーターばかり。それもあってか、世界のトレンドの後追いみたいな芸術祭が多い。その点、「札幌国際芸術祭2014」の坂本龍一や「ヨコハマトリエンナーレ2014」の森村泰昌のように、個人的なアーティストが特色ある芸術祭をオーガナイズしてみせたのはよかったんじゃないかと思うよ。



### 浅田 彰

あさだ・あきら●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力―記号論を超えて』はベストセラーに。